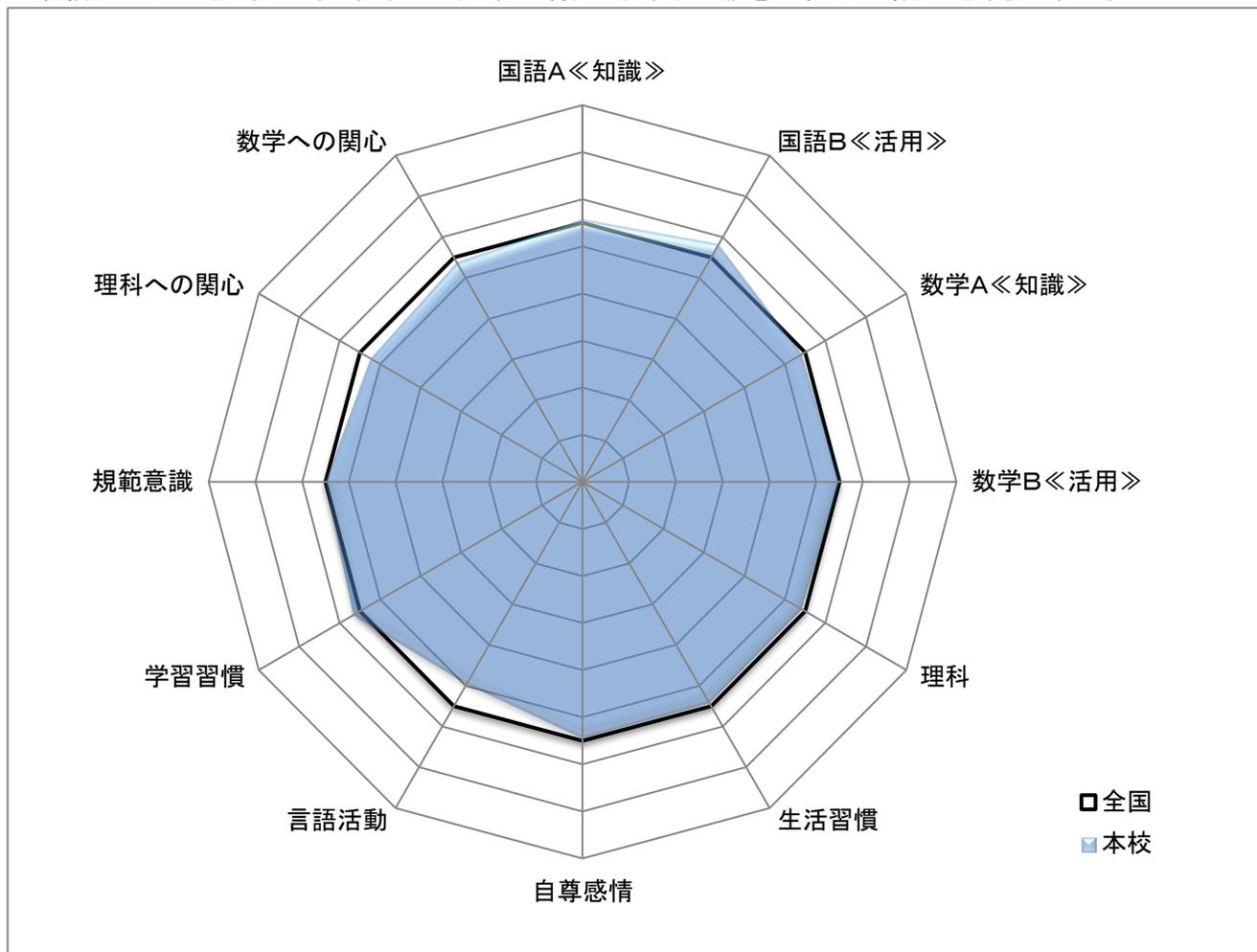


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

【国語】「関心」が高く、国語が好きで楽しく学んでいる生徒が多い。文章を読むことに対して抵抗は少ないようである。また「話すこと」などの活動的な学習に対しても意欲的な姿勢が見られる。
 【数学】数学が好きだという生徒は平均より上回っているが、基礎的な計算や文字式の等の計算で全国平均を下回っている。数学を生活の中で活用しようとするのが平均と差が大きい。
 【理科】理科の学習が好きで生徒が平均より多くいる。自然の中での体験が平均より低い。また、科学的思考の問題が平均より下回っている。

《授業改善のポイント》

学力向上の取り組みとして、「学び合い学習」「対話と共同による学習」についての校内研修会を引き続き継続し、授業改善を図っていく。学習コンクール習慣、漢字・計算コンテスト、スペリングコンテストと授業との関連性を図り、学習習慣の定着を図っていく。将来を見通し、生徒一人ひとりの個性に合わせた進路実現に向け、個を大切に授業の実現を目指すだけでなく教育活動全体を通して、様々な場面で「ひとてま」を惜しまない指導を実践していく。

《チャートの特徴》

全体を通してほぼ全国平均といえる。学力調査における結果は、数学、理科においては、やや下回った。数学は、文字式や計算などの面、理科においては、速さと時間の関係等での問題が平均を下回ったことが原因だと考えられる。国語は知識、活用においても平均を上回っている。
 生徒アンケートでは、理科や数学に関する関心に関するアンケートが平均以下であった。学校の規則を守ることにすることは平均以上であるがいじめに関する意識が平均以下になったことが気がかった。また、地域行事の参加やボランティア活動等の経験に関する項目が平均より大きく下回っている。家庭学習に取り組む時間等の項目は平均以上である。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・学習ガイダンスで復習ノートの作り方、基礎学力向上のための家庭学習の大切さを指導していく。
- ・小中連携の推進。小・中学校の教員の授業参観、指導法の共有化を図っていく。
- ・保護者、地域の教育力を取り入れる。